

令和4年度 清水四中グループ小中一貫教育グランドデザイン

○児童生徒の実態と学校教育目標に込めた思い

- ・言われたことは真面目に取り組むが、自ら学習したり行動したりするなど、主体的に学ぶ姿が3校共通の課題。授業、生徒指導、特別活動他、あらゆる教育活動で子どもたちの「自ら」を引き出し、育てたい。
- ・「学び」とは学習だけでなく、全ての活動を指す。「自ら学び」は個の強さ、たくましさであり、「共に創る」は人とかがわって課題を解決したり新しいものを生み出したりする共生の姿である。

学校教育目標

自ら学び 共に創る子

視点1

重点目標



- <清水四中> 心をつなごう あいさつ 歌 清掃 で
- <清水不二見小> 進んで かかわろう
- <清水駒越小> 自分から 動き出す子

【目標達成のための軸となる取組】

自己肯定感を高める生徒指導



9年間の連続性、系統性のある教育

視点2

◎学習

- 授業のルール(休み時間に次の授業の準備をするなど)
- 家庭学習カード
- 自学ノート

◎共通する教育課程の編成

- ◎生活「清水四中スタンダード」
- 自分からあいさつする
- 黙働清掃(始め・終わりの挨拶・時間いっぱい)

◎特別活動

- 子どもたちの自主性や創意を引き出す(行事、児童会・生徒会活動)

◎研修

- 「主体的に学び、伝え合い、深める授業」
- 自分の考えが相手に伝わるように説明したり書いたりする場の充実(伝え合い)

◎生徒指導

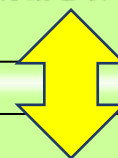
- 自己肯定感を高める。

◎しずおか学「防災教育」

- 防災の視点で地域を見直し、課題を発見しその解決に向けて取り組む力を育てる。
- 主体的に自他の生命を守る行動を取ることができる子。
- 地域社会の一員として進んで地域の安全に役立つ行動を取れる子

◎外国語教育の充実

- 日常的にイングリッシュデイ
- クラスルームイングリッシュ



児童・生徒交流、教職員の協働

視点3

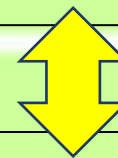
◎児童・生徒の交流

- 部活動体験
- 児童会・生徒会の交流
- 合唱祭への小学生の参加
- ICTの活用・リモート交流
- 小小合同宿泊活動



◎教職員の交流

- 合同授業研究会や合同職員会議、リモート全体会の実施
- S.Kom 掲示板やメールを使った情報共有
- 教職員サッカー大会・バスケットボール大会への参加



地域との連携

視点4

◎地域行事への参加促進を通じ、地域とのつながりを意識する子の育成

- 総合防災訓練への小中学生の積極的な参加
- 地区運動会をはじめ地域行事への参加(ボランティア、吹奏楽部演奏等)
- 三校合同美術展の開催
- 小学校の奉仕作業への中学生の参加
- 学校保健委員会での小中のつながり
- ノーマディアデイの設定
- 地域人材の活用
- 小中一貫教育だよりの発行
- 情報発信・ホームページの充実
- 小中一貫運営協議会の開催